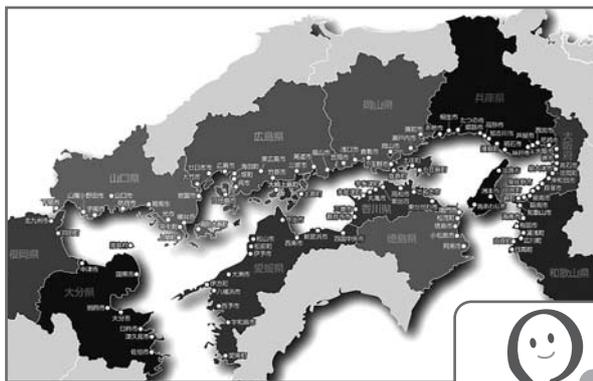


瀬戸内・海の路ネットワーク 推進協議会

「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」とは

瀬戸内海地域は、古くから海上交通の場として栄え、独自の社会・経済文化圏を形成し、我が国の発展に寄与してきた地域です。

「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」(海ネット)は、その歴史の重み、豊かな自然の恵みを活かし、瀬戸内の各地域が一体となり海を活かした地域づくりを考え実践することで、瀬戸内海地域全体の振興と発展を目的として、平成3年5月に設立されたものです。平成27年度末現在で、瀬戸内海沿岸の107市町村、11府県、国土交通省9地方機関(地方整備局、地方運輸局、運輸監視部)で構成されています。



瀬戸内海沿岸市町村MAP

海ネット
シンボルマーク



設立目的

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会は、瀬戸内海沿岸市町村相互の連携により、瀬戸内海の多様な資源を活かした人の流れを創り出し、防災ネットワーク機能の強化を視野に入れた瀬戸内・海の路の利用振興を図りつつアメニティー豊かな地域として沿岸地域全体の発展に資することを目的としています。

活動指針

瀬戸内・海の路ネットワーク協議会は、目的を達成するため以下の指針を定め活動を行っています。

●防災ネットワークの整備

高速海上交通時代に対応した今日的意義のある「海の路の構築」、並びに地震・津波に対応した防災ネットワークの整備。

●瀬戸内の魅力発信

瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並みなどインバウンド観光時代における瀬戸内の魅力発信。

●瀬戸内海的环境創造

失われた干潟、藻場の再生や災害、荒廃によるはげ山の修復等の瀬戸内海的环境創造。

主な活動

(1) 瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援協定(海ネット協定)

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会(海ネット)の会員市町村が海ネットを活かし、災害対応力を強化していくため、災害時において、主に海の路を介した連携による相互支援・協力を目的とした、災害時相互応援協定を締結しています(平成27年度現在、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会に加盟する70の会員がこの協定に参加)。



松山市と呉市との間で、船舶を利用した緊急支援助物資輸送の訓練実施(平成26年6月)

(2) 「リフレッシュ瀬戸内」

「受け継ごう、きれいで豊かな瀬戸の海」を合い言葉に平成5年から始まった「リフレッシュ瀬戸内」は、平成27年度は瀬戸内海沿岸各地302箇所での開催となり、これまで23年間で延べ約187万人が参加、約18,000トンのゴミを回収し、瀬戸内の環境改善に貢献しています。



海浜清掃活動(平成27年7月)